

### 空手道

#### 全日本選手権大会出場

空手の日本一を決める天皇盃・皇后盃第45回全日本空手道選手権大会が、12月9日(土)・10日(日)に東京武道館と日本武道館で行われました。

大会には本校の長谷川裕介(数学)先生が、兵庫県を代表して男子組手団体戦に出場されました。



1回戦はシードで、2回戦では和歌山県と対戦し3対0で勝利。続く3回戦の山梨県には0対3で敗れましたが、ベスト16という結果を残されました。

長谷川先生は、昨年10月にメキシコで行われた第8回世界糸東流空手道選手権大会の男子個人組手

60kg級にも出場され、見事優勝を飾られています。

#### 全国高等学校

#### 柔道選手権大会出場

平成30年3月20日・21日に日本武道館で開催される第40回全国高等学校柔道選手権大会の兵庫県予選が、昨年の12月17日(日)にグリーンアリーナ神戸サブアリーナで開催されました。

60kg級に顕徳大晴(明石市立望海中)、73kg級に高橋寛多(小野市立小野中)、無差別級に柴原海斗(たつの市立龍野西中)、小西貴大(明石市立野々池中)が、出場しました。

60kg級で顕徳大晴が2年連続優勝に輝き、73kg級の高橋寛多も優勝を果たしました。

この2名は全国大会に出場します。

### 世界選手権優勝

阿部一二三君(高校68回生)が、昨年8月に行われた第34回世界柔道選手権大会(ハンガリーのブダペスト)の男子66kg級に初出場して優勝しました。

優勝までの6試合中5試合で一本勝ちと、他を圧倒しての優勝でした。

その後、12月に行われたグランドスラム東京では、過去2戦2敗だったモンゴルの選手にも勝利し、優勝しています。

世界柔道選手権大会とグランドスラム東京の双方を制して優勝したことで、今年9月の世界柔道選手権大会の代表として内定されました。



神港学園卒業生で、過去に世界選手権や、オリン

ピックに出場された方は、3名おられます。

1964年の東京オリンピック中量級銅メダルと、1965年ブラジルで行われた第4回世界柔道選手権大会中量級銅メダルの山本義泰氏(高校12回生)が、最初です。

続いて、1969年メキシコで行われた第6回世界柔道選手権大会で軽中量級銅メダルの山本七福氏(高校17回生)、中量級銅メダルの呉原勝立氏(高校17回生)がおられます。

呉原勝立氏は、1972年ミュンヘンオリンピックでも中量級で銀メダルを獲得されています。

66kg級の阿部君は、神港学園から世界選手権出場者として4人目となり、それも悲願であった学園初の金メダリストとなりました。東京オリンピックでも、学園初の金メダリストになつてくれることでしょう。へ体重区分は、幾度となく変更されて、現在では7階級となっています。

**ちょっと一言** 新年あけましておめでとうございます。今年は戌年です。戌は、十二支の内で11番目にあたります。犬は親しみやすい性質や多産でお産が軽いことなどから、「吉日」といわれる暦の「戌の日」には神社やお寺で安産祈願が行われています。今年の運氣や兆候は、前向きに地道な努力を重ねると、大きく成長できる年で、中途半端な努力ではよくない結果につながるようです。人間と比べて犬には優れた能力があり、嗅覚は人間の100万倍~1億倍、聴覚はおおよそ4倍ともいわれています。犬のように感覚を鋭敏にし、過去の失敗や成功にもとらわれず、コツコツと努力を積み重ねて、ワンダフルな一年にしましょう。